Fluentd の Windows 版の機能に関わる開発支援の裏話

Hiroshi Hatake

株式会社クリアコード

Fluentd meetup in Matsue

## 自己紹介

Hiroshi Hatake



Twitter: @cosmo\_\_

• GitHub: @cosmo0920

• 株式会社クリアコード

OSS サポート (開発・導入支援・時間制サポート etc.)
 をしています。<sup>1</sup>

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup>https://www.clear-code.com/services/floss/development.html

- 1 はじめに
- ② Fluentd の開発支援の話
- ③ Fluentd v0.14 の新機能のおさらい
- Fluentd の Windows サポート
- 5 Windows での Ruby のエコシステム
- **6** win32-api gem のサポート
- 🕡 windows-pr gem の Fluentd に関わる Issue の解決
- 8 まとめ

#### 開発支援でやってきた内容

- Fluentd 0.12.16 の secret parameter が入った前後から開発支援をしています
- メモリダンプの機能
- Parser/Formatter のテストドライバ
- built-in のプラグインの v0.14 の API への移行
- AppVeyor の導入のお手伝い
- メンテナンスが活発でない gem を引き取ってメンテナンス
- プラグインへ各種 PR etc.

#### 開発支援でやってきた内容

- Fluentd 0.12.16 の secret parameter が入った前後から開発支援をしています
- メモリダンプの機能
- Parser/Formatter のテストドライバ
- built-in のプラグインの v0.14 の API への移行
- AppVeyor の導入のお手伝い
- メンテナンスが活発でない gem を引き取ってメンテナンス
- プラグインへ各種 PR etc.

Fluentd v0.14の開発支援をしていく中で、FluentdのWindows向けの機能で依存しているgemのメンテナンスを引き取った話をします。

# Fluentd v0.14の新機能<sup>3</sup>のおさらい

- Windows サポート
- 高精度な時刻サポート
- 新しいプラグインAPI
- router の使用の強制<sup>2</sup>

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup>Engine.emit がバグ扱いになりました

<sup>&</sup>lt;sup>3</sup>http://www.fluentd.org/blog/fluentd-v0.14.0-has-been-released

## Fluentd v0.14の新機能<sup>3</sup>のおさらい

- Windows サポート
- 高精度な時刻サポート
- 新しいプラグインAPI
- router の使用の強制<sup>2</sup>

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup>Engine.emit がバグ扱いになりました

<sup>&</sup>lt;sup>3</sup>http://www.fluentd.org/blog/fluentd-v0.14.0-has-been-released

## Fluentd の Windows サポート

つまり、Fluentd v0.14の開発ではWindows も考慮した開発が必要。

## Fluentd の Windows サポート

つまり、Fluentd v0.14の開発ではWindows も考慮した開発が必要。

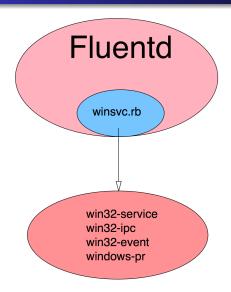
# Fluentd の Windows 版で増えている依存関係 (抜粋)

```
if /mswin|mingw/ =~ RUBY_PLATFORM
  gem.add_runtime_dependency("win32-service", ["~>\u0.8.3"])
  gem.add_runtime_dependency("win32-ipc", ["~>\u0.6.1"])
  gem.add_runtime_dependency("win32-event", ["~>\u0.6.1"])
  gem.add_runtime_dependency("windows-pr", ["~>\u1.2.5"])
end
```

## Windows 版で増えている依存関係

- win32-service
- win32-ipc
- win32-event
- windows-pr
  - windows-api
  - win32-api

# 今回話す話す内容の gem と Fluentd の関係図



Windows サービスに関わる箇所 (winsvc) が依存しています。

# 今回話す話す内容に関わる gem たち

- windows-pr
- windows-api
- win32-api

# 今回話す話す内容に関わる gem たち

- windows-pr
- windows-api
- win32-api C拡張を含む gem

#### C拡張で何かできるの?

Ruby には C extension という C により Ruby を拡張できる機能があります。

これにより、Cのライブラリの機能をRubyに取り込むことができます。

#### C拡張で何かできるの?

Ruby には C extension という C により Ruby を拡張できる機能があります。

これにより、Cのライブラリの機能を Ruby に取り込むことができます。

代表例:

#### C拡張で何かできるの?

Ruby には C extension という C により Ruby を拡張できる機能があります。

これにより、Cのライブラリの機能を Ruby に取り込むことができます。

#### 代表例:

Windows の COM の機能をバインドした Win32OLE

#### C拡張で何かできるの?

Ruby には C extension という C により Ruby を拡張できる機能があります。

これにより、Cのライブラリの機能を Ruby に取り込むことができます。

#### 代表例:

- Windows の COM の機能をバインドした Win32OLE
- Groonga の C ライブラリをバインドした Rroonga

#### C拡張で何かできるの?

Ruby には C extension という C により Ruby を拡張できる機能があります。

これにより、Cのライブラリの機能を Ruby に取り込むことができます。

#### 代表例:

- Windows の COM の機能をバインドした Win32OLE
- Groonga の C ライブラリをバインドした Rroonga
- GTK+のライブラリをバインドした Ruby-GNOME2

#### C拡張を含む gem の注意点

gem のユーザーは依存しているライブラリをシステム にインストールする必要があります

gem のユーザーはCのソースをビルドするための開発 環境をシステムにインストールする必要があります

#### C拡張を含む gem の注意点

- gem のユーザーは依存しているライブラリをシステム にインストールする必要があります
  - 実は dll や dylib、so だけでも Ruby の C 拡張から機能が 呼べることができれば使う分には大丈夫です。
- gem のユーザーは C のソースをビルドするための開発 環境をシステムにインストールする必要があります

## Windows での Ruby のエコシステム- fat gem とは

#### fat gem とは

- fat gem という gem の中に Ruby の C 拡張のバイナリ をパッケージングできるしくみがあります。
- Fluentd でも使っている cool.io<sup>4</sup> でもこの仕組みを使用しています。

<sup>&</sup>lt;sup>4</sup>https://github.com/tarcieri/cool.io

# RubyのC拡張のバイナリを gem にパッケージ ング

#### 利点・欠点

- 利点
  - C拡張を予め入れておくことで、Windows で Ruby を使 うユーザーが C拡張をビルドしなくてもよくなります
- 欠点
  - 新しい Ruby が出たらそれ用の gem をリリースしなければならない
  - 開発者がパッケージングする手間が増える
  - クロスコンパイルするのに一手間

# RubyのC拡張のバイナリを gem にパッケージング

#### それでも fat gem を提供する理由

- ユーザーからすると fat gem が提供されていた方が嬉しい
- Windows ユーザーはあまり開発環境を構築していない

## win32-api gem

#### win32-api とは

元は djberg96 氏 5 作。

Win32API を Ruby から呼び出せるラッパー。

Ruby 本体の API にはないコールバックサポートがあります。# include < windows.h> # WIN32API のおまじない

<sup>&</sup>lt;sup>5</sup>https://github.com/djberg96

Ruby 2.3 がサポートされていなかったので Issue を上げました

Support precompiled binaries for Ruby 2.3: https://github.com/djberg96/win32-api/issues/16

@djberg98 "@cosmo0920 I don't suppose you would be interested in taking over this project, would you?" <sup>6</sup>

<sup>&</sup>lt;sup>6</sup>https://github.com/djberg96/win32-api/issues/16#issuecomment-212021651

つまりどういうこと?

真意がよくわからないので聞いてみま しょう

 Ocosmo0920(me) "What do you want to do for me? Just building universal gem?
 Or, entirely taking over this project?"

- Ocosmo0920(me) "What do you want to do for me? Just building universal gem?
   Or, entirely taking over this project?"
- @djberg96 "@cosmo0920 Completely taking over project."



djberg96 commented on 27 Apr

@cosmo0920 Completely taking over project.



djberg96 commented on 27 Apr

@cosmo0920 Completely taking over project.

訳:完全に引き継いでください。



djberg96 commented on 27 Apr

@cosmo0920 Completely taking over project.

訳:完全に引き継いでください。

#### 実はメンテナを探していた

= Maintainer Wanted! Since I no longer use this project, I would like to turn it over to someone who has the skill, time and desire to keep it going.<sup>7</sup>

 $<sup>^{7}</sup>$ https://github.com/cosmo0920/win32-api/blob/eef0b35dd095f43cac0d48824a782ecbb31a25d6/README#L118

## win32-apiのRuby 2.3 サポート

#### 実はメンテナを探していた

= Maintainer Wanted! Since I no longer use this project, I would like to turn it over to someone who has the skill, time and desire to keep it going.<sup>7</sup>

訳: メンテナ求む! このプロジェクトはもう使っていないので、技術があり、時間と続けていく心意気のある誰かに譲りたい。

<sup>&</sup>lt;sup>7</sup>https://github.com/cosmo0920/win32api/blob/eef0b35dd095f43cac0d48824a782ecbb31a25d6/README#L118

# win32-apiのRuby 2.3サポート

win32-api プロジェクトの master を引き継ぎました。

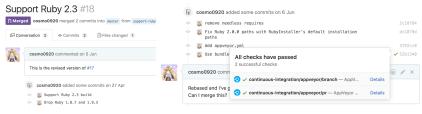
## win32-apiのRuby 2.3 サポート

win32-api プロジェクトの master を引き継ぎました。

windows-api, windows-pr プロジェクトの master も合わせて引き 継ぎました。

### win32-apiのRuby 2.3サポート

Ruby 2.3 に対応させる <sup>8</sup> 作業と、AppVeyor<sup>9</sup> の導入 <sup>10</sup> の作業を行いました。



 $<sup>^{8}</sup>$ https://github.com/cosmo0920/win32-api/pull/18

<sup>&</sup>lt;sup>9</sup>https://www.appveyor.com/

<sup>&</sup>lt;sup>10</sup>https://github.com/cosmo0920/win32-api/pull/20

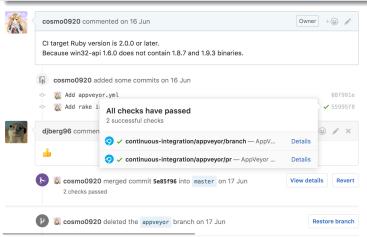
## win32-apiのRuby 2.3 サポート

1.6.0 として Ruby 2.3 のサポートと、Ruby 1.8.7 と 1.9.0 のサポートを切ったバージョン 1.6.0 をリリース済みです。 $^{11}$ 

<sup>&</sup>lt;sup>11</sup>https://rubygems.org/gems/win32-api/versions/1.6.0-universal-mingw32

#### windows-api gem

### AppVeyor の導入をしました。<sup>12</sup>



<sup>&</sup>lt;sup>12</sup>https://github.com/cosmo0920/windows-api/pull/6

### windows-pr gem

#### windows-pr gem のサポート

メンテナンスを引き継いでからすぐに Issue を解決することとなりました。 $^{13}$ 

対応する Fluentd 側の Issue は

https://github.com/fluent/fluentd/issues/920

<sup>&</sup>lt;sup>13</sup>https://github.com/cosmo0920/windows-pr/issues/13

#### in\_tail が Windows 上で問題を起こしていた

in\_tail で監視しているファイルが削除されると、 undefinedmethod'pe =' for# < Fluent :: TailInput :: TailWatcher :: NullIOHandler ::: 0x0000000XXXXXXXX > "' というエラーが起きていました。

#### 何が起きていたのか

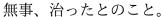
- INVALID\_HANDLE\_VALUE が 32bit と 64bit では異なる 定数として扱わなければなりません。しかし、 0xFFFFFFFF がハードコートされてしまっていました。

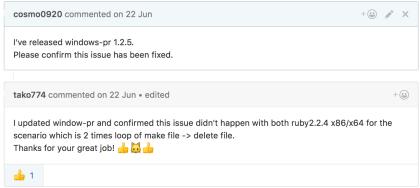
<sup>&</sup>lt;sup>14</sup>https://github.com/cosmo0920/windows-pr/pull/15

<sup>&</sup>lt;sup>15</sup>ただし、この修正は CRuby に対しては有効で、JRuby に対してはバグを含んでいます。

### Use 64bit adopted constant #15







INVALID\_FILE\_HANLDEの64bit Windows 環境での定数の不具合を修正したバージョン1.2.5をリリース済みです。<sup>16</sup>

<sup>&</sup>lt;sup>16</sup>https://rubygems.org/gems/windows-pr/versions/1.2.5

### まとめ

Fluentd の Windows 版の機能で依存している gem のメンテナンスを引き取った話をしました。

その際に、単に引き取るだけでなく、よりメンテナンスが しやすい方向にしていく変更を入れました。

Windows で Ruby を使う際には、C 拡張や Windows に関わる Ruby や gem の問題に対応しているメンテナの存在を思い出してあげてください。